

安全な水をありがとう

文花中学校

二年

二組

岡

春乃

「水道水」といったらどのようなイメージを思い浮かぶでしょうか。私は蛇口をひねればきれいでおいしい水が出てくる。というイメージがあります。しかし、「水道水」がきれいでおいしく飲める国はたったの九カ国で少なく、必ずしもきれいとは限らない国が多いため、安全とはいえないのです。

私がインターネットでみたアフリカの少年は、水を遠くまで歩いて取りにいっています。た。そのときの顔は険しく、やつとの思いで手に入れた水を一生懸命飲んでいました。もちろん浄水処理がされていません。そのままの水を飲むと抵抗力の弱い子どもたちはたちまち体を壊してしまいます。その中の主原因が下痢であり、年間三十万人、毎日八百人以上の乳幼児が亡くなっています。そんなにスワがある水を飲むのはなぜだろう。そう考えてみる

とシヨツクを隠しきれませんでした。

我が国日本では、水道の蛇口をひねるだけで簡単にきれいな水が出てきます。それは、沈殿、ろ過、消毒の浄水処理が行われているからこそそのまま水を飲むことができます。私の祖母は節水をしていて普段から水を大切にすると意識があります。例えば、食器を洗う前に油汚れを新聞紙や布で拭いてから洗っていたり、シャワーの水をこまめに止めたりもしているそうです。私も見習ってや

っていきたい。そう思いました。なぜなら水を自由に使えない人々がたくさんいるのに、私たちが無駄遣いしてはならないと思うからです。

しかし、日本ではなく海外で考えてみると、水道水を安全に飲むことができる国は繰り返すようですが、たの九カ国しかありません。どうしたら安全な水を世界中の人々が飲めるようになるのだろうかと思っただけに思っ出したことがありました。

私は以前学校でベルマーク募金をしたこと
があります。そのベルマークはアジアの子ど
もたちを助けるNPOへの支援に繋がって
いるそうです。また、その他にも、水をきれい
にする薬を作るための募金をしたことがあり
ました。あまり力になれないだろうなと思
いながら入れたそのお金が、現地の子ども
たちの笑顔に繋がっていると分かり、母に
真つ先に伝えました。そのとき母は、
「やってよかったね。」

と笑顔で言っていて私も嬉しい気持ちで
はいでした。このような些細なことでも
力になれているのです。このことから私は
水道環境が整っていない人々に希望が
与えられるように、様々なボランティア
をやってみたいです。

日本は世界と比べるとかなわないこと
が多いです。しかし、技術をもら
うことでいくことで発展するよ
うに、日本の水道水がきれい
でおいしく飲める技術を世界に発信
していったら

良いと思います。今は新型コロナウイルスの
影響で手洗いやうがいなど衛生面的に気を付
けなければなりません。だからこそ協力すべ
きただと思えます。また、水に関係している方
々が努力を惜しまず働いてくださっている
ということを忘れず、そして、世界中の人々が
水道に困らずに暮らせるようになることをバ
から祈っています。なお、私たちにできるこ
とをして水を大切に作る習慣を身に付けてい
きたいです。安全な水をありがとう。